

2015年12月1日

当院で腹腔鏡下大腸切除術の治療を受けられた患者さんへ

当院で行っている臨床研究についてのお知らせとお願いです

課題名：腹腔鏡下大腸切除術時のベアハガー砕石位用を使用した体温管理の有用性

◆研究の目的と概要◆

当院では、腹腔鏡下大腸切除術の手術を受けられる患者さんを対象として、現在行っている3M ベアハガーアンダーボディ砕石位用 585Bを使用した手術中の体温変化を明らかにし、現在当院で行っている体温管理の効果について検討する目的で、腹腔鏡下大腸切除術の手術をうける患者さんを対象に、臨床研究を実施しています。
この研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

◆対象となる患者さん◆

2014年4月から、2015年4月までの間に、腹腔鏡下大腸切除術の手術をうけた方。

◆研究に使用されるカルテ情報◆

年齢、性別、身長・体重、術式、手術時間、手術中の体温、術後のシバリング

- * 患者さん個人が特定されるような情報は一切公表されません
- * この研究は、倉敷中央病院 医の倫理委員会の承認を得て行っています。
- * この研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用を希望されない方は、以下の問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

手術センター 研究責任者 佐野早苗

TEL：086-422-0210（代表）、FAX：086-421-3424（代表）

E-mail：kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究推進部）

（★を@に変換して使用してください）